TANAKA DAI INFOMATION

平内町議会議員 田中だい通信

第４号
2017年８月１日発行

着実！ひとつずつ！変わる平内！変わる未来！

中泊町新庁舎視察

平成29年１月４日運用開始の中泊町新庁舎
第１回（３月）定例会の委員会で私が提案し、５月24日 町議会総務福祉常任委員会で視察してまいりました。当町においても庁舎建設は重要課題でありますので、建設理由、計画から建設までの流れ、移転理由、事業費及び財源、町民との意見交換方法など、隅々に至るまで学んできました。

鰺ヶ沢消防署新庁舎視察

６月27日、鰺ヶ沢消防署新庁舎を（私一人で）視察してまいりました。工期１年をかけての移転建設、説明を聞いて感じたことは　鰺ヶ沢町と当町には共通の課題が多数存在するということでした。なお、当町の消防署庁舎は本年度用地取得（少年院跡地）となります。

議会活性化特別委員会副委員長就任

第２回定例会において、平内町議会活性化特別委員会が設置されました。当議会においては議会活性化策を議員自らが検討する必要があることから、６名の議員が選任され、私は副委員長となりました。課題は山積しておりますが、委員長を補佐しながら、議会発展の為に誠心誠意、努めてまいります。

議会広報特別委員会研修

５月25日、県内の町村議会広報研修会が青森市で開催され、参加しました。私は昨年より広報特別委員会のメンバーですが、当町議会広報誌は昨年の県外視察の成果もあり、高い評価をいただいておりますが、これで満足することなく、もっと多くの町民に観てもらえるよう研鑽してまいります。尚、私の担当は写真となっております。町内のイベント等の情報がありましたら情報をお寄せください。

夜越山クロスカントリー大会

５月３日、夜越山森林公園において第27回夜越山クロスカントリー大会が幼児から一般まで481人がエントリーし開催されました。私も来賓として参加、二男の瞬も幼児の部に初エントリーし、無事完走しました。

平成29年第二回議会定例会一般質問
「教育施策推進のため公営学習塾を」

田中大　国の事業として、地域と学校の連携、協働により、学習支援の取り組みの一つとして実施する地域未来塾という放課後学習支援事業があります。これは、経済的な理由や家庭の事情により十分な勉強時間が確保できない中学生を対象とした子供に、地域の施設などを活用して、学生や元教師など地域の人材を活用し、放課後に学習時間と場所を原則無料で提供するものであります。

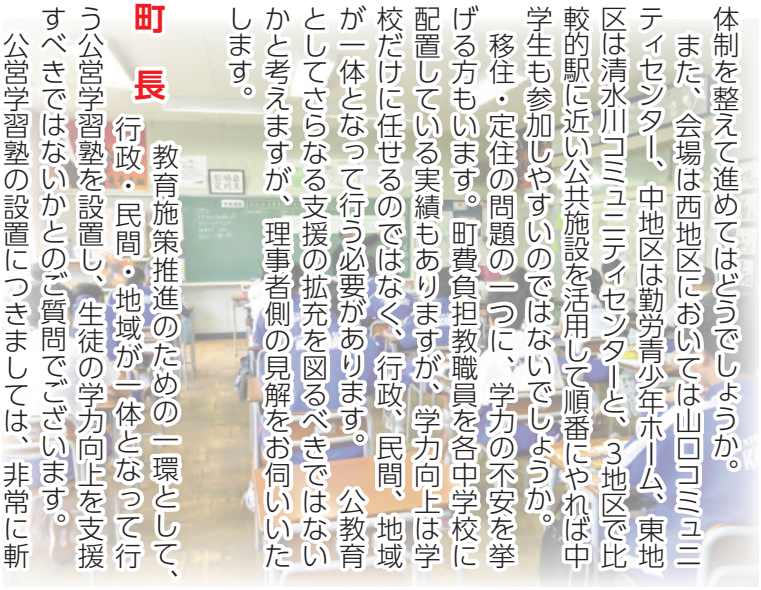
私は先日、平成17年に全国で初めて開設された公営学習塾、東通村学習塾を視察してまいりました。東通村では、中学校全生徒の希望者を対象に、毎週水曜日と土曜日に120分ないし90分、学年別にクラス分けをし、講師をむつ市の学習塾、早稲田進学会に依頼して実施しております。授業料は村で年間330万円を予算化し、教材費として毎月2千円を保護者より徴収されているとのことです。塾生の数は毎年、全中学生の約2割ほどだそうであります。

文部科学省では、毎年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力テストを実施しております。平成28年度の結果を見てみますと、当町の小学生は全国トップレベルでありましたが、中学生の学力は全国平均を下回っております。また、高校受験対策の現状を見てみますと、町内には大人数を受け入れる塾がなく、入塾希望者は青森市内の学習塾に通っており、経済的負担も大きく、受験の点数も市内の受験生と比べて、1教科約10点以上低いという現状であります。

このような現状を踏まえ、当町にも公営の学習塾が必要と考えます。まずは受験生である中学校3年生を対象として、授業料は町で負担、入塾希望者のクラス分けは受験志望校別とし、講師は町内外の学習塾講師、退職した教員等で体制を整えて進めてはどうでしょうか。

また、会場は西地区においては山口コミュニティセンター、中地区は勤労青少年ホーム、東地区は清水川コミュニティセンターと、3地区で比較的駅に近い公共施設を活用して順番にやれば中学生も参加しやすいのではないでしょうか。

移住・定住の問題の一つに、学力の不安を挙げる方もいます。町費負担教職員を各中学校に配置している実績もありますが、学力向上は学校だけに任せるのではなく、行政、民間、地域が一体となって行う必要があります。公教育としてさらなる支援の拡充を図るべきではないかと考えますが、理事者側の見解をお伺いいたします。



町長　教育施策推進のための一環として、行政・民間・地域が一体となって行う公営学習塾を設置し、生徒の学力向上を支援すべきではないかとのご質問でございます。

公営学習塾の設置につきましては、非常に斬新なアイデアであると思っておりますが、これまでの学習塾のイメージは民間での設置で、希望者のみを対象とするのが一般的であります。議員お話しの東通村が公営学習塾を設置し、しかも希望者のみということは非常にまれなケースであると思っております。しかしながら、公費で運営する学習塾とするならば、希望する者だけを対象とするのではなく、生徒全員が公平に恩恵を受けるというやり方でないと不公平感が生ずることになります。

このことから、高校等進学率がほぼ100％である当町としては、議員ご提言のとおり、学習塾講師や退職教員等を講師に迎え、生徒の学力・進学対策として各学校において放課後などに定期的な特別講習などを行うことが可能かどうかなど、各学校とも協議し、検討してまいりたいと思っております。

なお、当町におきましては、中学生の学力向上を目的に町費負担の臨時講師を採用し、各中学校に1名ずつ配置しております。これにより、習熟度別授業や補習授業などを実施しており、各教科のレベルアップが進んでいるところであります。また、学力については、中学校に入学してからの取り組みでは遅いこともあり、小学校との連携の中で進めるため、小中連携推進事業も実施しており、成果を上げているところでもあります。

いずれにいたしましても、平内町の子供たちの学力向上については、教育政策上の重要課題でもあり、田中議員のご質問の趣旨を十分生かせるような取り組みを検討してまいりたいと思っております。

田中大　ただいまの答弁も十分に理解できますけれども、私の提案は、今話題になっております教師の多忙化解消策の一助となる政策であると考えております。まずは中学生を対象に、需要調査のためのアンケート調査を実施してみるのもよいかと考えますが、いかがでしょうか。

町長　この問題が教師の多忙化という問題とリンクしているということでございますけれども、いずれにいたしましても、私どもといたしましては現在のところ、小中学校の教師が非常に忙しいということは認識しております。ただ、どのくらい忙しいのかということはまだ具体的にはつかんでおりませんけれども、今お話ございましたいろんなアンケート調査も実施してみるということも可能性としてはあると思っております。

次回の議会一般質問は9月11日（月曜日）午前10時です。ぜひ傍聴にいらしてください。

町政へのご提案・ご要望をぜひお知らせください！
皆様から頂いたお声は、議会で質疑したり担当課に直接要望したり、責任をもって町へ届けます！
電話 017-763-0170　FAX 017-755-4295

※この新聞は後援会討議資料です